

第20回

議会報告会

～開かれた議会をめざして～

令和7年5月17日(土)
午後2:00～午後4:00

調布市文化会館たづくり12階 大会議場

調布市議会

議会報告会 次第

- 1 開会
- 2 議長報告
- 3 総務委員会報告
- 4 文教委員会報告
- 5 厚生委員会報告
- 6 建設委員会報告
- 休憩
- 7 広聴
- 8 閉会

★の用語は P23～24 に解説を掲載

各委員会の担当分野

総務委員会

- ⇨ 市政運営の基本方針や行政計画
- ⇨ 歳入や税金に関すること
- ⇨ 会計、監査、選挙に関すること
- ⇨ 防災・防犯対策

文教委員会

- ⇨ 市内小中学校運営や教育行政の運営
- ⇨ 図書館、公民館、博物館など、社会教育分野
- ⇨ 芸術・文化振興、生涯学習、市民活動、地域コミュニティー
- ⇨ 観光・産業振興、映画のまち調布の推進
- ⇨ 市民スポーツ振興など

厚生委員会

- ⇨ 高齢者、障がい者のくらしや福祉、介護サービス
- ⇨ 予防接種や検診などの健康づくり、国民健康保険に関すること
- ⇨ 子育て支援・幼稚園・保育園・学童クラブ
- ⇨ 青少年の育成、子ども・若者支援など

建設委員会

- ⇨ 街づくり
- ⇨ 道路や橋等の整備、交通安全対策、住宅に関すること
- ⇨ 自転車等駐車場の整備
- ⇨ 地球環境や生活環境の保全
- ⇨ 公園・緑地等の整備や保全
- ⇨ ごみの減量対策
- ⇨ 狂犬病予防接種、飼い主のいない猫対策

●お願い

第二部では、各常任委員会で発表された内容に対してのご意見を伺います。多くの方が発言できますよう、時間を制限させて頂く場合もございますので、ご協力をお願いいたします。

議長報告

令和7年第1回定例会

2月28日から3月27日（28日間）



令和7年度 市政経営の概要



○重点プロジェクト

- 1 ◆安全・安心に暮らせるまち
- 2 ◆調布の宝である子どもたちを応援するまち
- 3 ◆誰もが自分らしく安心して住み続けられるまち
- 4 ◆にぎわいと交流のある活気に満ちたまち
- 5 ◆人と自然がおりなすうるおいあるまち

※基本計画の3年次目

※市民生活支援等の継続的取組

令和7年度会計別予算額



会 計		7 年 度	対 前 年 度 増 減	増 減 率
一 般 会 計		1,120億1,000万円	55億1,000万円	5.2%
特 別 会 計		463億6,200万円	200万円	0.0%
	国民健康保険事業	215億2,900万円	▲9億1,600万円	▲4.1%
	用 地	2億0,800万円	▲1億1,700万円	▲35.9%
	介護保険事業	181億1,700万円	8億9,200万円	5.2%
	後期高齢者医療	65億0,800万円	1億4,200万円	2.2%
公営企業会計		65億2,700万円	▲10億9,200万円	▲14.3%
下水道事業		65億2,700万円	▲10億9,200万円	▲14.3%
合 計		1,648億9,900万円	44億1,900万円	2.8%

※金額は100万円未満を四捨五入しているため、表記額と合計額が一致しない場合があります

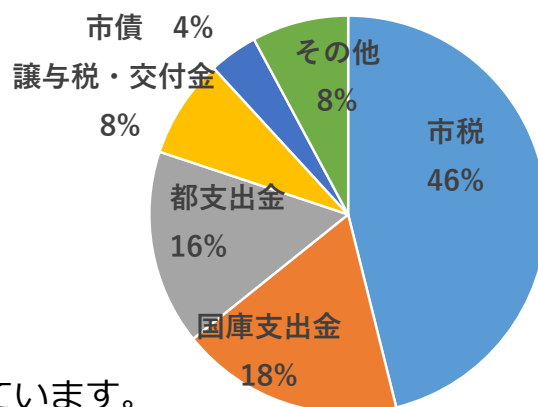
※下水道事業の予算規模は収益的支出と資本的支出の合計です

一般会計歳入予算 1,120億1,000万円の内訳



- ・ 市税 516億4,800万円
※ 歳入全体の46.1%（前年度45.8%）
- ・ 国庫支出金 203億0,500万円
- ・ 都支出金 177億7,400万円
- ・ 譲与税・交付金 90億3,700万円
- ・ 市債 44億5,000万円
- ・ その他 87億9,600万円

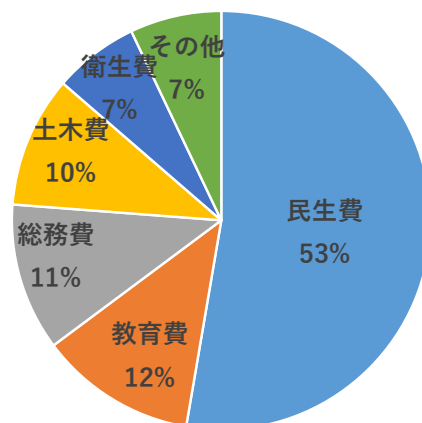
※金額は各項目について100万円未満を四捨五入しています。



一般会計歳出予算 1,120億1,000万円の内訳



- ・ 民生費 590億2,000万円
※ 歳出全体の52.7%（前年度52.4%）
- ・ 教育費 135億6,300万円
- ・ 総務費 127億8,200万円
- ・ 土木費 113億5,500万円
- ・ 衛生費 73億6,800万円
- ・ その他 79億2,200万円



※金額は各項目について100万円未満を四捨五入しています。

ご清聴ありがとうございました

次 第

- 1 開会
- 2 **議長報告**
- 3 総務委員会報告
- 4 文教委員会報告
- 5 厚生委員会報告
- 6 建設委員会報告
- 休憩
- 7 広聴
- 8 閉会

MEMO

総務委員会



委員長
副委員長

木下安子	伊藤藤子	井上耕志	榑原登志子	平野充	青山誠	沼田亮
------	------	------	-------	-----	-----	-----

総務委員会

行政経営部

総務部

市民部

会計管理者

監査委員

選挙管理委員会

第1回定例会

12件の条例の改廃
新年度予算の審査

本発表では

▼R7年度一般会計歳入歳出予算

総務委員会所管分

生活に関わりの深いテーマ・委員から多くの
発言があった審議内容につき報告



令和7年度 一般会計歳入歳出予算

補助金



- 給食費総予算約10億5,100万円（うち、約8億1,900万円は東京都から補助金、市税負担は約2億3,000万円）
- 防犯対策（防犯設備費補助金）2,400万円余
- 新しい地方経済・生活環境創生交付金4,000万円余

まちづくり（歳入）



- 歳入の根幹である市民税の増収は非常に重要であり、街の発展、地域活性化に必要不可欠である。東部地区連続立体交差事業や企業誘致の推進など今後の取組に期待する。
- 都市基盤整備を進めることで街が活性化し、固定資産税や住民税等々の歳入が増収するので、都市計画道路を早急に完成させることに期待する。



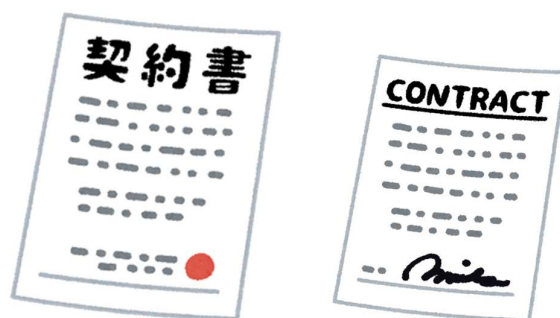
- ネットワーク式の防犯カメラの導入や防災行政無線のアプリ連携など新たな技術を活用した取り組みに期待する。
- 防犯機器購入補助事業の都補助⇒市からの補助金上乘せはない。購入補助の手順など分かりやすく掲載。



- 闇バイト対策として市立学校への冊子の配布を評価する。その先の活用・学習についても意識を高めていただきたいが、どのような状況か⇒給食の時間に内容を放送で流してもらっている。効果的に活用している。
- 下校時の見守り放送は、子どもの防犯において重要とされるエンパワメントに繋がるよう、子どもの意見を取り入れ、子どもの権利の視点から見直しを求める。

契 約

●市内事業者の受注機会の確保は事業者の成長を促す。大規模災害を想定して、市内事業者の実力向上、技術者の確保など全庁的に後押しすべき。



ふるさと納税



●ふるさと納税の返礼品の魅力増加などの取り組みにより、ふるさと納税の流出超過の抑制に期待。

●調布市がアピールするふるさと納税として、これまでも数々の具体的提案をしたが、検討していく段階で行政と議会との連携が必要。

ご清聴ありがとうございました！

文教委員会



内藤 美貴子 委員

岸本 直子 副委員長

須山 妙子 委員長

大須賀 浩裕 委員

澤井 慧 委員

丸田 絵美 委員

宮本 和実 委員



行政視察の様子
徳島市



鳴門市



市内小学校の現地調査

文教委員会所管部門

～生活文化スポーツ部～

- 総務（生活文化に関わる項目）
文化振興、消費生活、生涯学習
グリーンホール、たづくり、
市民プラザあくろす、男女共同
参画など
- 産業振興
（労働・商工業・農業・観光費）
- 保健体育費（スポーツ振興）
オリパラ・デフリンピック、
市民プール、総合体育館

歳出総額は、39億9,734万円、前年度と比較し
7,063万円の増額、率にして約1.8%のプラス

◆委員会での質疑
姉妹都市交流40周年、平和祈念事業、部活動の地域支援、
鉄道敷地、男女共同参画プラン、たづくり、グリーンホールの
整備、花火大会、映画のまち・水木ゾーンのPR、観光協会、
産業振興ビジョン、市民農園、学童農園、デフリンピックのと
りくみ、アーバンスポーツ施設、市民プールなど、多くの質疑
を行いました。

文教委員会所管部門

～教育部～

● 学校教育

小中学校費、防災教育、学校施設、アレルギー対策、学校給食の運営、タブレット使用、教員の働き方改革など

● 社会教育

(二十歳のつどい、青少年対策、ハケ岳少年自然の家、図書館、文化財保護、郷土博物館、下布田遺跡、実篤記念館、公民館など)

教育部所管の歳出予算は、110億8,600万円余
前年度と比較して9億7,100万円余、9.6%のプラス

◆委員会での質疑

防災教育、早朝見守り事業、学校施設整備、学校の防犯カメラ、教員の働き方改革、※エデュケーションアシスタント、スクールソーシャルワーカー、部活動指導員、※ICT支援員、アレルギー対策、図書館の※ICタグ・予約受け取り本コーナーについて、中学生の海外体験について…など盛りだくさんの質疑を行いました。

※エデュケーションアシスタント:教育活動をサポートする人材
支援する人材

※ICT支援員:学校における情報通信技術の活用を
※ICタグ:書籍にICチップをつけ、貸し出しなどの管理が可能

平和事業について

令和7年(2025)年は、戦後80年

市制施行70周年
国際交流平和都市
宣言35周年

～戦争の悲惨さ・平和の尊さを学ぶ機会の創出、次世代への継承めざして～

令和7年度のとりくみ

- ・毎年開催する平和展にて、被爆地広島から貸与されたVR(仮想現実)ゴーグルを装着することで、VR映像を通して原爆投下時の状況を体感する事業を実施。



- ・調布市内に現存する戦火の資料・戦争体験映像記録をデジタル化し、次世代につなぐとりくみとして実施。
- ・継続して活動中の中学生をピースメッセンジャーとして広島市に派遣。さらに活動を継続しているピース部3名への活動支援として新たに沖縄県に派遣する新事業を実施。
- ・平和情報誌「ピースレターちょうふ」発行

← 令和6年発行のピースレター(表紙)

平和事業について

問、沖縄への派遣理由と計画の詳細、随行人数などについて。

質疑（抜粋） 答、6月の慰霊の日を視野に検討中。随行は添乗員、看護師、市職員など4名。
今後は事業評価とともに、振り返りをしっかり行おうと答弁。

ほかには、戦争体験の継承事業の強化、ピースメッセンジャーの公民館等との連携拡充、市のすべてのとりくみに活用を、地域福祉センターに設置されている平和都市宣言パネルの補修など、次世代継承に関わる工夫について、多くの要望が出されました。

子ども・若者の自主性を活かした事業を評価し、平和の核となる人材育成のために継続・さらなる拡充を要望。

中学校の部活動地域移行について

中学生の部活動活性化のため、地域団体や民間などの力を活用していきます

中学の部活動は、生徒のスポーツや文化芸術等に親しむ期間を保障する場であり、他学年等との人間関係の構築や生徒自身の自己肯定感・責任感・連帯感を育てる大きな役割を担っています。

部活動の課題

・平日だけでなく休日・大会等での教員の負担増とともに、部活数や部員数の減少等により、部活動の場の確保が緊急の課題。

課題解決のために

国は「校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定

東京都は

学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画を策定。



調布市は

地域連携・地域移行に向けた推進計画を策定(令和6年12月)。

昨年度からのトライアル事業を継続・拡充し、スポーツ・文化に関わる市内諸団体の知恵をお借りし、今後「調布モデル」を検討・構築していく。

※トライアル事業:地域のスポーツクラブ等の活動と一緒に部活動を行うイメージ

中学校の部活動地域移行について

問、複数の課に関連予算が計上されているが、庁内の業務体制は

答、教育部指導室が中心となりつつ文化生涯学習課やスポーツ振興課とも連携し計画を策定。関係3課で調布モデルを構築していく。

質疑(抜粋)

問、調布モデルのあるべき姿と目標は

答、市の恵まれた資源を活用し、生徒がスポーツ文化活動を継続的にできる持続可能なくみの構築が必要。目標は令和9年度。まずは、すべての部活において休日の部活動の地域連携が移行を目指している。



そのほか、制度構築費用や家庭への費用負担、市内の諸団体との連携の形、教員の負担軽減につながるのか…など、活発な質疑を行いました。

課題解決のために、学校と地域が一体となってとりくみつつ、生徒の思いを受け止め成長を促す体制整備を要望しました。

文教委員会の所管事務調査

調布市若者の文化芸術活動及びスポーツ活動
の応援に関する条例
解説書

令和7年3月
調布市議会／調布市



調布市若者の文化芸術活動及び スポーツ活動の応援に関する条例

令和7年4月1日より施行

文教委員会の所管事務調査を進め、令和6年第4回定例会にて委員会で条例提案し可決しました。

* その後も逐条解説書を作成。

学生や若者団体等の意見聴取の声、若者への活動支援に対する文教委員会としての思いを盛り込みました。

**若者が自主的にあらゆる活動にとりくめるよう
行政と協力して応援していきます！**

令和7年度議会報告会

厚生委員会



古川陽菜

委員

松野英夫

委員

阿部草太

委員長

佐藤堯彦

副委員長

田中謙二

委員

鈴木ほの香

委員

田村ゆう子

委員

【厚生委員会で取り扱う議案】

昨年比 +5.8%

◆一般会計予算

⇒福祉健康部・子ども生活部の所管分。(主に**民生費**)

◆特別会計予算

⇒国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療)

【第1回定例会で取り扱った議案】

◆令和7年度一般会計予算・特別会計予算

◆令和6年度補正予算(一般会計・特別会計)

◆条例改正4本

⇒うち2本は賛成多数で可決、残り2本は全会一致で可決。

【子育て政策】

子ども家庭支援地域活動事業について



◆子ども食堂への補助金について

⇒令和6年度は補助を増額、備蓄米無償提供(国の対応)。

◆ベビーシッター及び家事・育児支援サービスについて

⇒利用者増、利用料値上げ、事業所の実態など質問あり。

⇒都の補助制度なので、都の動向を見つつ対応を検討。

新規事業について

◆「子ども家庭支援センター」の設置

◆地域交流センター「まんまる」への補助金の新設

【児童青少年政策】

児童館の今後の在り方について



◆令和2年度より直営児童館の民間委託を推進。

⇒ただし、11館中4館は直営の基幹型児童館★とする。

⇒センター機能型児童館について機能や役割を含めて検討。

児童館の今後の課題

◆老朽化したつつじヶ丘児童館の建替えについて。

◆中高生対応、年齢に応じた備品整備、eスポーツ★対応を。

【健康推進事業】

食育推進事業について

- ◆多くの方が参加してもらえる食育講演会を検討中。

健康づくりの啓発・がん検診協働事業について

- ◆「がん通信」を年4回全戸配布を予定。冊子形式も検討。

バースデーサポート事業について

- ◆支給対象を2歳にも拡大
⇒店舗でのデジタル取扱、利用者への周知を進める。
- ◆産後ケア事業の利用体制の整備が課題



【総合福祉センターの移転】

シャトルバスの運行とフロント機能について

- ◆シャトルバスの運行について
⇒調布駅周辺の立地活用も視野に、実証実験を実施。
⇒今後もアクセシビリティ★の維持向上に努める。
- ◆フロント機能について
⇒市庁舎およびその敷地内の活用を視野に入れる。
⇒市庁舎の長寿命化と併せて確保する。
⇒これまでに市民から出た意見を踏まえて具体的に検討。
- ◆市民との意見交換を継続するよう、委員から要望あり。



【生活保護費】

新規事業のエアコン設置助成について



- ◆受給者本人の手続が難しい際はケースワーカーが支援。

委員からの要望

- ◆金銭管理支援の際、依存症の自覚のない方を他機関へ。
- ◆扶養照会を受け取る親族のことも考えた丁寧な対応を。
- ◆ケースワーカーの心身のケアを。
- ◆身寄りがないまま亡くなる受給者について、亡くなる前から親族と死後の相談を行うよう要望。

建設委員会

第20回調布市議会
議会報告会



委員長
大野祐司



副委員長
清水仁恵



川畑英樹



鈴木宗貴



山根洋平



藤川満恵



磯邊 隆

建設委員会の 所管

- ・ 環境部
- ・ 都市整備部

調布ごみナビ

調布駅前公衆トイレ整備

ホームドア整備の促進

空き家対策

調布ごみナビ



AI★技術を活用したごみ分別支援システム(産学官連携事業)

LINEアプリを活用した
ごみ分別支援機能

運用開始

調布ごみナビ

調布ごみナビとは?

AIの支援により、ごみの分別方法をご案内する便利な機能です。そのほかにも、暮らしに役立ついろいろな機能を備えていますので、ぜひご利用ください!

主な機能

- POINT 01 品目名の入力・写真送信で、AIがごみの分別をナビ(案内)します!
- POINT 02 最寄りの収集袋取扱店・おむつ袋配布場所などを案内します!
- POINT 03 粗大ごみ収集料金の簡易検索と申込みができます!
- POINT 04 多言語による案内ができます!(13か国語)

便利機能1 テキスト(文字)入力・写真送信による分別ナビ

テキスト入力または写真の送信により、AIが対象を自動識別し、調布市におけるごみの分別方法を案内します。
※粗大ごみ収集料金の表示・申込先へのリンクもできます。

1. 収集カレンダー表示、おむつ袋配布場所検索、粗大ごみ受付へ回、家電回収、おむつ袋配布場所検索、エリア検索
2. テキスト入力による分別ナビ
3. 写真送信による分別ナビ

精度向上のため、明らかに異なる案内が出た場合、AIが正しく判定できたか、フィードバック👍👎にご協力ください!

調布駅前公衆トイレ

水循環型トイレ★

フェーズフリー★認証の取得を要望
公園のトイレも含めた市内のトイレを災害時にも使用できるようにすることが重要

自己処理型水洗トイレ「e6s (エシックス)」

工事概要とスケジュール

外観イメージ

清掃・維持管理

(1) 日常清掃
立地を踏まえ回数を1日3回(拡充)
※通常1日1回

(2) 定期清掃 年3回実施
・特殊薬剤を使用した尿石等の汚れ除去
・日常清掃に関する課題検証、改善など

(3) その他
・水循環型トイレ、壁面緑化の維持管理など

今後のスケジュール

項目	R6年度					R7年度				
	2月	3月	4月	5月	6月	2月	3月	4月	5月	6月
新築工事	→									
供用開始(予定)						→				
(暫定) 調布駅前広場公衆トイレ解体工事						→				



調布駅前公衆トイレ

壁面緑化・花壇の設置

都市整備部との連携も

方針1 公衆トイレの基本性能を備えたトイレ

外から中が見えないレイアウト

入口には防犯カメラ

合面壁は明るく、安全!

誰でも使いやすい設備概要

設備概要	トイレ	ベト用トイレ
合面壁	○	○
防犯カメラ	○	○
手洗機	○	○
乾燥機	○	○
ベンチ	○	○
ゴミ箱	○	○

イベントにも便利な使い心地

ペット用トイレ

方針2 調布駅前広場にふさわしいデザイン

壁面緑化は脱炭素だけでなく緑の空間の魅力を表しているよ

クリーンインフラを広く活用

照明はもちろんLED

壁面緑化

方針3 環境にやさしい脱炭素型太陽光パネルと蓄電池を設置

雨水逓送設備の設置

What we do?

トイレは水と電気を必要とする施設です。環境にやさしいトイレを実現するため、太陽光パネルと蓄電池を設置し、雨水逓送設備を設置しています。

トイレの水と電気の確保システム

方針4 非常時にも利用可能な仕様

災害が起きて、電気が止まっても、水道が止まっても、水とトイレが利用できます

トイレは水と電気を必要とする施設です。環境にやさしいトイレを実現するため、太陽光パネルと蓄電池を設置し、雨水逓送設備を設置しています。

トイレの水と電気の確保システム

方針5 清潔さの持続性

メンテナンスしやすく清潔さを持続させるため、水洗式の水を再利用する設備を採用しています。メンテナンスにおいても、メンテナンスの充実による快適さを保持



令和5年3月31日に終了したおもてなしガーデン（参考）

ホームドア整備の促進

京王多摩川駅への設置へ

鉄道駅バリアフリー推進事業費 8,000万円

1. 現段階での整備スケジュール

供用開始年度※1	対象駅（予定）※2
2025年度	駒場東上駅/池ノ上駅/東松原駅/永福町駅/浜田山駅/高井戸駅/富士見ヶ丘駅
2026年度	新代田駅/西永福駅/井の頭公園駅/幡ヶ谷駅/仙川駅/北野駅/稲城駅
2027年度	明大前駅（井の頭線）/初台駅/つつじヶ丘駅/柴崎駅/若葉台駅/京王多摩センター駅
2028年度	府中駅/高幡不動駅/長沼駅/京王八王子駅/京王永山駅/府中競馬正門前駅/めじろ台駅/狹間駅/高尾山口駅
2029年度以降	代田橋駅/明大前駅（京王線）/下高井戸駅/桜上水駅/上北沢駅/八幡山駅/芦花公園駅/千歳烏山駅/西調布駅/武蔵野台駅/多摩霊園駅/東府中駅/中河原駅/分信河原駅/聖蹟桜ヶ丘駅/百草園駅/南平駅/平山城址公園駅/京王片倉駅/山田駅/京王稲田堤駅/京王よみうりランド駅/京王堀之内駅/南大沢駅/多摩境駅/橋本駅/多摩動物公園駅

《ホームドア整備スケジュール》

京王電鉄株式会社NEWS RELEASEより

ホームドアの整備は、測量・設計から最終調整まで、ホームドアの製作を含めて約2～3年をかけて行います。（ホームの構造によって年数は異なります）

STEP 01 設計、製作

工事の1年以上前から測量・設計を行い、ホームドアの製作を開始。製作には約1年半かかります。

STEP 02 仮ホーム化、ホーム補強、ベースプレート埋設

ホームドアを設置するための、ホームに穴をあけます。

お音性が工事途中のホームを安全に思えるようにするため、仮ホームを設置します。

ホームドアの置きに耐えられるよう、ホームを補強します。

ホームドアを固定するための金具などを設置します。

STEP 03 ホームドア搬入・設置、タイル新設、動作試験・調整

ホームドアを列車に合わせて1ホーム分を一度に運搬します。

列車で運搬してきたホームドアは、多くの作業員を動員し、ひと機のうち1機を搬入・設置します。

列車とホームとの設置・隙間を縮めるため、タイルを新設します。

タイル新設と並行して、動作試験や調整を行います。

STEP 04 使用開始

経費から助成までの限られた期間で工事を進めるため、完成後約2～3年の期間が必要となります。

《ホームドア整備の流れ》

空き家対策

R2実施の空き家実態調査

R3にはその690棟すべての所有者に意向調査を実施、相談窓口の開設などを行う

空き家バンクのマッチングが上手くいっていない

実際の利活用事例「トビバコ」の実績を基に空き家等対策推進協議会でも議論していく



空き家等リノベーション促進事業「トビバコ」



空き家等リノベーション促進事業「トビバコ」

空き家の利活用

私たちは共立女子大学の建築・デザイン学科に所属し、建築計画研究室で活動を行っています。空き家活用の研究活動の一環としてトビバコの運営に携わってきました。企画者の方へのインタビューも行い、さまざまな人の考え方や利用方法を知ることができました。トビバコへ関わり経験したこと、聞いたことをもとにトビバコがどのように活用されているのか、そしてトビバコの可能性、また今の日本における空き家利活用について考えました。



トビバコ第一段記念冊子より

トビバコ2F

Green Mind Labo Pebbles

ペブルスの部屋

Pebllesさんの部屋では、再生プラスチックステーション、再生プラスチック製品の展示、販売まで行っている。ペブルス君や、プラスチックボトルが、集めたものをシュレッダーマンで粉砕する。しつこくプラスチックで粉砕に挑戦する。そこでからプラスチックを再利用。など多様なものを作成。プラスチックのいろんな色によってカラフルな作品が多く、場所を問わずでも参加できるのが特徴である。

minglalingo

みんなぐるりんの部屋

minglalingo の部屋では住み込み管理人のたくさんが利用している。minglalingoさん共創アートの作品の制作に、メダラ、STREAM教育、さらには空き家を活用したソーシャルインクルージョンな活動もつくづく広がっている。子どもたちの興味を惹くようなカラフルな作品が多く、場所を問わずでも参加できるのが特徴である。

トビバコ 1F

五味部屋

五味部屋は五味太郎さんの作品の展示と販売を行っている。五味さんの作品は、子どもたちの心を捉える。多くの作品が展示されている。この部屋は、五味さんの作品を展示し、販売している。五味太郎さん、代表作は「みんながよかった」「みんなうしろ」など。

みんなうしろ

五味太郎さん、代表作は「みんながよかった」「みんなうしろ」など。



写真は2025/2/24のフィナーレの様子。先日東京都主催「東京都地域別空き家活用セミナー」にて発表を行いました。

現在トビバコ第二段を企画中とのことです。(7月頃?)

【あ】

アクセシビリティ

アクセシビリティ（Accessibility）とは、「近づきやすさ」「利用しやすさ」という意味をもつ言葉。福祉の面からは、高齢者や障害のある方を含むすべての人が、移動の自由やサービスの利用しやすさ確保できることで、社会の一員として主体的に生きる権利を保障するために重要になる考え方。

【い】

e スポーツ

e スポーツ（エレクトロニック・スポーツ）とは、競技性のあるビデオゲームを使って複数人で対戦をするもの。プロ選手が存在し、近年では世界大会やリーグが開催されるなど人気となっており、スポーツ競技としての側面も持ちつつある種目となっている。

【え】

A I

A I（人工知能）とは、人間が持つ知的な能力をコンピュータ上で実現する技術の総称。機械学習や深層学習といった手法を用いて、データから学習し、推論や判断、問題解決といった複雑なタスクを自律的にこなせるようになる技術。近年、様々な分野で活用が広がっており、人々の生活を大きく変えつつある。

【き】

基幹型児童館

基幹型児童館とは、地域の子育て支援の中心的な役割を担う児童館として位置づけられた児童館を指す。これに対し、基幹型児童館ほどの設備はないものの、それぞれの施設の特色を活かした地域の子育て支援施設として、地域型児童館というものがある。

【ふ】

フェーズフリー

普段利用している物やサービスを、災害などの非常時にも役立てることができるという考え方。

フェーズフリー認証

一般社団法人フェーズフリー協会が、災害時にも日常生活にも役立つ製品やサービスを認証する制度。認証マークが付いた製品やサービスは、安全性や利便性、災害時の有用性などの基準を満たしているため、安心して選択できる指標となる。

【み】

水循環型トイレ

使用した汚水を浄化処理し、その処理水を洗浄水として再利用するトイレ。下水道が整備されていない地域や災害時など、水の確保が難しい状況でも使用できるのが大きな特徴。微生物の力や膜分離技術などを活用して汚水を浄化するため、環境負荷の低減にも貢献することができる。

MEMO